

協力会社をピックアップ!

強力な人



燃料供給で社会インフラを支える、 唯一無二のパートナー

[三和エネルギー株式会社 / 株式会社大同井本エネルギー]

私たちの仕事が円滑に進むのは、
日ごろから共に頑張る協力会社の力添えがあってこそ!
共に働く「強力な人」を紹介します。



全国規模の安定した燃料供給を実現

当社は長年、災害時の燃料油供給保証や燃料販売の仕入れ先として、大同燃料様と契約していました。同社は2019年に日本最大級の石油製品販売企業である宇佐美グループに加入。翌年には東大阪を拠点に燃料販売・配送をしていた井本産業様と合併し、社名を現在の株式会社大同井本エネルギーへと改めました。また、三和エネルギー株式会社様も2017年に宇佐美グルー

プに加わっており、大同井本エネルギー様とはグループ会社にあたる位置づけとなっています。現在は、自社で石油タンクを保有する大同井本エネルギー様と、燃料の製造・貯蔵・配送に強みを持つ三和エネルギー様が、それぞれの専門性を生かしつつ協業。全国規模で安定した供給体制を築いています。

「こうした企業再編には、エネルギー業界全体の変化があります」と語るのは道下さ

んです。全盛期には6万店以上を数えたガソリンスタンドが、現在は約2万7,000店舗へと減少。需要の衰退を受けて廃業する企業も少なくありません。その中で、ネットワークを広げ続ける三和エネルギー様 / 大同井本エネルギー様の存在感は増しており、当社もその恩恵を受け、関西以外の遠方エリアでも安価で安定した燃料調達が可能に。全国展開での営業が行えるようになりました。

能登半島地震の復旧を支えた燃料輸送

三和エネルギー様 / 大同井本エネルギー様の実力が発揮されたのは、2024年の元旦に発生した能登半島地震への対応でした。地震発生直後から被災地の電力供給および通信インフラの早期復旧に不可欠な燃料供給を支えてくれました。「地震発生1時間後には、大阪と横浜に災害対策本部が立ち上がっていました」と道下さん。両本部をつないだZoom画面の先には、すでに100人近くが集まっていました。「要請があればいつでも動くという強い意

思を感じました」と言葉を続けます。

しかし、現地の状況は想像をはるかに超えた厳しさでした。1月4日から金沢市を拠点に、能登半島の各地域への燃料輸送が始まりましたが、片道2時間の行程が8時間に及ぶことも。現地作業に赴いた俵石さんは「土砂崩れや地盤の陥没で道路は通行止めだらけ。地面からマンホールだけが50cmも突き出した光景を見たときは言葉を失いました」と振り返ります。さらに、雪によって道路の亀裂が隠されていることやホワイトアウト、そして通信不良が作業の妨げとなりまし

た。「予定時刻を過ぎても戻らない…。ドライバーの無事を確認できない不安にかられ続けた日々でした」と道下さんは語ります。

被災地での作業は1月末までの計26日間続きました。「燃料輸送のプロがどれほど万全を期しても、災害時の輸送に100%の安全はありません。俵石さんも輸送中に陥没した道路にはまり、数時間動けなくなった経験をしたそうです。それでも使命感と危険の狭間で、皆さんは見事に燃料を届け続けてくれました」と道下さんはその尽力をたたえます。

道下 祐輝 様
(三和エネルギー株式会社 /
株式会社大同井本エネルギー
東日本EESS事業部次長) (中)

俵石 隼奨 様
(三和エネルギー株式会社 /
株式会社大同井本エネルギー
西日本第一配送部統括支店長) (左)

お客様の “困りごと”から 特許技術を開発

能登半島地震から2年が経過し“平常運転”に戻っても、三和エネルギー様 / 大同井本エネルギー様は24時間365日体制で燃料を配送しています。届ける先はさまざままで、日本を盛り上げた2025年大阪・関西万博もその1つ。開幕前から会期中、閉幕後まで一貫して燃料供給を担いました。また近年は、非常災害用途として、燃料充てん後に長期間保管され、劣化した燃料をろ過してクリーンな状態へ蘇らせる“燃料循環ろ過”を独自開発。特許も取得しまし

た。「弊社の代表が常々口にする『お客様の声を一番大切にしない』の言葉を守り、私たちは毎日、全国4,000以上の現場でお客様と向き合っています。燃料循環ろ過も“お客様の困りごと”から生まれたサービスです」と道下さんは胸を張ります。全国規模の安定供給体制を維持しつつ、新技術の開発にも取り組む三和エネルギー様 / 大同井本エネルギー様。電力の安定供給を掲げ、社会インフラを支える当社にとって、平常時も非常時も頼りになる唯一無二のパートナーです。



互いに成長できる、 良きパートナーであり続けましょう!

かんでんエンジニアリング様は、長年取引させていただいている大切なお客様。お付き合いを開始した当時のオーナーの思い、先輩が紡いできた信頼を、私たちが継承していきたいと考えています。そのためにも、石油小売業として自分たちの会社や立場をしっかりと守り、安定供給を続けていくことが、私たちの使命と認識しています。

また、北海道から九州にいたる全国に広がるネットワークは、かんでんエンジニアリング様にとっても大きな力になるはず。

いつまでも互いの成長につながる良きパートナーであり続けたいと願います!



三和エネルギー株式会社 / 株式会社大同井本エネルギー
道下 祐輝 様(左)、俵石 隼奨 様(右)

次はバイオ燃料や海上案件! より大きな仕事も共に手掛けましょう!

能登半島地震の復旧対応は緊張の連続でしたが、夜中に電話をして「こんな時間でも出てくれるんですか?」「当然ですよ!」と冗談を交わしながら、共に燃料供給に尽力しましたね。無事に燃料を届けていただき、本当にありがとうございました。

日常的に当社が安心して燃料を販売できるのは、目まぐるしい変化が起きているエネルギー業界において、三和エネルギー様 / 大同井本エネルギー様がどっしりと構えてくれているおかげ。ぜひ今後は、バイオ燃料や海上案件など、より大きな仕事を、共に実現していきたいと考えています。これからも変わらぬお付き合いをよろしくお願いいたします!

